

あした、輝け!

3月11日に発生した東日本巨大地震により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。そして、被災された皆様、そのご家族の皆さまへ心よりお見舞い申し上げます。

安心・安全のまちづくり

①公共施設の耐震化

鎌ヶ谷市が所有する公共建築物104棟のうち、70棟が耐震基準に適合しており、耐震化率67.3%。(平成22年12月末)そのうち小中学校施設51棟のうち耐震化済み棟数30棟、耐震化率58.8%。(平成22年度末)

②備蓄倉庫整備・備蓄物資の充実

市内21ヶ所にある避難所に備蓄倉庫を順次配備し、平成22年度末で7ヶ所整備されている。平成23年度は中部小学校への設置予定、事業費の予算は500万円。備蓄物資状況は食料が6万4000食、飲料水袋(10ℓ用)が5800袋、医薬品が50人用のセットで56セット。他にも簡易トイレ、毛布、防災テント、食器類、防災用機材を備蓄。

③住宅耐震改修促進

鎌ヶ谷市では無料耐震相談会を開催。また、耐震改修工事を実施した場合に耐震精密診断した費用を上限10万円、耐震改修工事費用を上限20万円、計30万円の補助を実施。平成23年の耐震改修促進事業費の予算は368万円。

鎌ヶ谷市が所有する公共建築物は平成27年度までに耐震化率90%を目指し、小中学校施設は平成27年度までに耐震化率88.2%を目指している。市の公共施設の耐震化は徐々に進んでいるが、前倒してでも小中学校施設の耐震化はすべきである。そして、鎌ヶ谷市には地域防災計画が策定されているが、今回の地震の際に機能したのかを一つ一つ検証し、想定外の地震が発生した場合に備えておくことが必要。市内全域を一つの防災計画でまとめるのではなく、市街地や郊外など、それぞれ地域に合ったマニュアルが必要である。

明日を生きる!!!

35才

松沢たけひと



ホームページは 松沢たけひと 検索

www.t-matsuzawa.net

松沢たけひと プロフィール

- 昭和50年 鎌ヶ谷市東中沢で誕生
- 昭和57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和62年 市立鎌ヶ谷中部小学校卒業
- 平成2年 市立鎌ヶ谷第四中学校卒業
- 平成5年 県立白井高等学校卒業
- 平成8年 アメリカメンフィス大学にて語学研修を受ける
- 平成9年 中央学院大学法学部法律学科卒業
- 平成18年 (株)人形工房 武人設立 代表取締役
- 節句人形師として、日本古来の伝統を守り続ける
- 平成19年 鎌ヶ谷市議会議員 初当選